

子どもと保育の未来空間

子どもと保育の未来空間

〒422-8009 静岡県静岡市駿河区弥生町6-1

助成事業の概要

「子どもと保育の未来空間」の目的は、子どもの未来と育児・保育・教育のあり方を市民レベルで考えるコミュニティづくりにあります。参加者は、幼稚園教諭、保育士、保育教諭、小学校教員、保育者を志す高校生・大学生、そして保護者や地域の住民です。とくに専門職である保育者を中心に、市民レベルで子どもの未来や育児・保育・教育について語り合うことによって、子どもを中心にした地域づくりにもつながってほしいと願っています。

事業の成果

今年度にて、本活動は7年目となる。「保育探検」「保育カフェ」「保育広場」「保育ファクトリー（子どものあそび広場）」という4つのプロジェクトは、富士市、富士宮市、静岡市など地域に根づきつつある。具体的に、活動の成果は以下の通りである。

保育広場（5回）

第1回（06/20）

講演会 「スウェーデン保育施設視察報告会」
（参加者20名）

第2回（10/20）

講演会：井桁容子氏「保育の面白さと今求められる保育者の専門性」（参加者60名）

第3回（11/03）

シンポジウム「日々の保育を語り合う」（参加者）
（69名）

第4回（12/15）

シンポジウム「子どもの育ちを支える保育環境の再考」（21名）

第5回（01/26）

講演会：井手孝太郎氏「保育において大切なこと」（35名）

昨年同様に、地元の保育者をはじめ、保育者を目指す高校生の参加も少しずつ増えてきている。

保育カフェ（15回）

04/26から01/23まで、

大学にて15回の開催

例：「子どもの未来を考える - 汐見稔幸の保育思想から -」

保育広場を支える活動であり、保育に関する学びの場が学生主体で開かれ、それが保育広場の質を高めることに寄与している。

子どものあそび広場（1回）

11/11 清水銀座商店街銀ぶらマルシェに参加 参加者（約40名）

このプロジェクトは3年目を迎え、地域に定着

しつつある。光に注目した遊びなど、普段とは異なるあそびを考え、子どもも親も、そして地域の人々も興味深く遊んでいる姿がみられた。

保育探険（5回）

- 08/31 和光保育園視察（4名）
- 11/18 和光保育園視察（バザール）（4名）
- 11/30 くらき永田保育園視察（3名）
- 01/18 世田谷仁慈保幼園視察（8名）
- 03/4-12 レッジョ・エミリア保育施設視察（イタリア）（9名）

これも、「保育広場」と「子どものあそび広場」を支える活動になっている。視察先での学びが、とりわけ後者の活動に影響をあたえている。

あそび広場」を重点的に拡張していきたいと考えている。過去3年間は1年間に1回の開催であったが、来年度は3回（6月、11月、1月）の開催を予定している。回数を増やすことにより、回数を重ねるごとに、あそびの空間の質を高めたい。また保育広場については、さらなる参加者の拡大を図るため、ネット等を通じて周知活動に取り組む予定である。目標としては、毎回100名の参加者を募りたい。すでに、来年度における講演会等の計画はほぼ決まっている。それと同時に、このプロジェクトの活動を持続的に進めていくために、本活動を社会的にアピールし、賛同者を募ることも重要な課題である。そして、持続可能なプロジェクトになるように、財政的基盤を確立していきたい。

成果の広報・公表

本プロジェクトについては、HP や SNS（フェイスブック等）によって公表をしている。また大学のHPにも学生主体の活動として掲載されている。さらに、年度末に活動成果報告書を作成し、関係機関に配り、活動の成果を報告するように心がけている。

HP

<https://hiropyon-seminar.eat.auto>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/childreduceducarefuture/>

今後の展開

今後の展開として、各プロジェクトをこれまでの同様に継続しながら、地域にしっかりと活動を根づかせ、発展させていくことが課題である。来年度は、保育ファクトリーの活動である「子どもの